

第4回県立総合医療センター機能強化基本構想検討委員会の概要

- 1 開催日時 令和5年6月14日（水） 15:00～16:00
- 2 場 所 山口県庁本館棟4階 共用第3会議室
- 3 出席者 委員 11名（うちオンライン参加3名）
※欠席者2名（事前聴取した意見を委員会で報告）
- 4 議 事
 - 県立総合医療センター機能強化基本構想（素案）について
 - 今後スケジュール

【意見交換・質疑】

委員からの主な意見

【基本構想（素案）について】

- ・第3次救急医療機関や第1種感染症指定医療機関に求められる高いアクセス性や大規模災害・パンデミック時の多数の患者のトリアージや治療の実現が可能なプランと考える。
- ・県内医療の中核的な役割等をしっかりと果たせるような医療機能の強化の方向性を示していただいたことは、市長会・町村会からの要望に沿った形であり感謝する。
- ・施設整備に当たっては、地元の実情をしっかりと把握し、住民の皆様の御理解・御協力が得られるよう、丁寧な説明・対応に努めていただきたい。
- ・患者の通院や職員の通勤等を考慮すると、近隣でアクセス性が確保されており、最適。浸水対策等も検討されるとのことで、基幹災害拠点病院として、災害対応力の強化についてもしっかりと取り組んでいただきたい。
- ・センターとしては高度専門医療が中心となるが、医師の後継者不足が懸念されるため、一定程度の在宅医療の機能については持つようにしていただきたい。医療と在宅をつないでいく取組も重要であり、医療機能強化のところで在宅の視点も持って関わっていただきたい。
- ・今後の地域課題と考えられる感染症診療、へき地医療などの分野における臨床教育では、センターの強みを発揮できると考えており、研修・教育体制の充実に向けて、山口大学と連携できればと期待している。
- ・精神病床を10床程度新設するとされているが、そのうち1～2床は保護室としてほしい。

- ・施設整備に当たっては、地元住民の視点をしっかりと大切にし、丁寧な説明、納得のいく説明をしてほしい。専門的な視点から、くらしや防災等に関する内容を地元で説明し、住民が納得できるような形での病院移転を要望。
- ・志の高い医療人材の確保・育成が重要。感染症や災害対応のみならず、最新の研修内容や医療現場での実施が必要で、看護師の確保対策も含め、看護協会もしっかり連携して取り組みたい。
- ・予防医療の場についても記述をいただいております、体の健康はお口の健康からということもあるので、例えばサロンなど、歯の健康づくりのための場所の提供について、今後の設計段階で検討いただきたい。
- ・山口大学と、お互いにできること・できないことを上手に組み合わせながら、人材育成に連携して取り組みたい。
- ・移転先の地元の皆様に来ていただいて良かったと言ってもらえるよう、しっかり取り組んでまいりたい。

検討委員会の意見の取りまとめ

- ・これまで3回の検討委員会における議論等が適切に反映されている等の意見が示され、基本構想（素案）について、検討委員会として承認された。
- ・次回の検討委員会の開催について、基本構想（素案）に大きな変更箇所がないなど、状況にもよるが、開催方法については、書面開催も含め、委員長と事務局で協議することとなった。